

松戸市議団ニュース

日本共産党松戸市議会議員団
《連絡先》松戸市役所控室
電話 (366) 7403
F A X (366) 5915

6月議会が始まりました

加計学園疑惑の真相究明、共謀罪法案をめぐる緊迫している国会情勢があり、大型開発か福祉・くらしを守るのか大きな争点として、激戦の都議選がたたかわれています。このような中で市議会が開会され、市議団5人は市民に軸足を置いた市政に向けて、質問し議案・請願などの審査に臨みます。

◆平田きよみ議員 6月19日(月) 2番目

一、住宅政策(市営住宅)について

- (1) 昨年の6月、10月、2月の募集と倍率について
- (2) 期限が迫っている借り上げ住宅の対応について
- (3) 市営住宅の需要と供給のバランスについて
- (4) 家賃減免制度の改善について

二、道徳教育について

- (1) 道徳教科書の採択について
- (2) 指導の現状と今後について



三、教職員の多忙化解消について

○教育委員会主催の行事の見直しについて

*超過勤務に関する調査結果や学校運営委員会での検討の経過と成果について

四、学校教育におけるPTAの意義と役割について

- (1) 教育委員会の認識を問う
- (2) 今後PTA活動の発展についての考えは

五、ごみ処理計画について

- (1) クリーンセンター廃止に伴う対策について
- (2) 飛灰保管用仮設建物の今後について

◆山口正子議員 6月19日(月) 3番目

一、子育て支援について

- (1) 保育所(園)等入所状況と入所定員に対する今後の方向性をどのように考えているか
- (2) 3歳未満と3歳以上児の入所振り分けの現状と今後をどのように考えているか

- (3) 保育士確保と処遇について
- (4) 子ども総合計画の中間見直しの理由と内容について

二、市立病院について

- (1) 外来待ち時間など利用者サービス向上の取り組みについて
 - ア、外来待ち時間短縮への取り組みと調査結果について
 - イ、利用者の紹介率(市民へのかかりつけ医受診に対する周知)と逆紹介率について
 - ウ、市民向けセミナー開催状況と反応について
- (2) 医師及び看護師確保と離職防止の取り組みについて
 - ア、医師及び看護師確保の現状と課題について
 - イ、働く環境改善と離職防止の取り組みについて
- (3) 病院退院後の利用者の療養先はどうか

三、地域包括ケアシステムについて

- (1) 地域サポート医の位置づけを含む在宅医療・介護連携推進事業の現状について
- (2) かかりつけ医の周知について

四、道路交通の安全対策について

- (1) 新松戸四丁目スクランブル交差点の安全対策について
- (2) 三ヶ月と西馬橋一丁目間の地下道出入口の改善を

五、コミュニティバスの運行について

- (1) 中和倉地区実証運行に向けて、市民からの意見反映と運賃体系についてどのように考えるか
- (2) 八ヶ崎地域の交通不便解消をどのように考えているか

◆高橋たえ子議員6月19日(月) 4番目

一、市長の政治姿勢について

- (1) 「核兵器廃絶ヒバクシャ国際署名」について
- (2) 平和事業の取り組みについて

二、介護保険制度について

- (1) 介護保険法等改正による負担と軽減について
 - ア、特別養護老人ホーム入所者の食事・居宅費の負担軽減を行う「補足給付」が2015年、16年と連続改定による影響について
 - イ、介護保険制度導入時の保険料と現在の保険料について

- (2) 法改正による地域包括支援センターの影響について

- (3) 厚労省のめざす「わが事」「丸ごと」地域共生社会とは

- (4) 改正障がい者総合支援法に伴う、「障がいの65歳以上の介護サービスについて

三、市民センターのバリアフリー化について

○バリアフリー化が進んでいない市民センターについて

四、浸水対策について

○低地部(采町西地域・上矢切地域)の浸水対策の進捗と今後の見直しについて



※うつの、高木両議員の質問内容は裏面に掲載しています。

6/26(月) 10時～〈教育環境常任委員会〉

「ゆきとどいた教育を求め」請願審査の「傍聴を」と呼びかけます。

子どもたちの教育環境を少しでも良くしたいと、市民や教師らが市議会に求めたものです。市民の求める請願を各議員がどのように受け止め、審査に臨むのか、ぜひ市民の目線でみてください。

なお、党市議団は、うつの、高橋、山口の3人が請願に対して紹介議員となり、高木、平田議員は教育環境常任委員として直接審査に臨み、一丸となって採択へと頑張ります。

